

事業優先順位		4 細事業：骨粗しょう症検診事業							整理番号	09	
目的	早期の骨量減少者を発見し、栄養・運動面等の保健指導により改善を図り、骨粗しょう症予防や悪化防止を図る。										
目標	骨粗しょう症検診をうけることによって、生活習慣を見直し、適切な治療に結びつけることができるように援助を行う。										
事業実施主体	委託	事業開始年	平成14年度	根拠法令	健康増進法						
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較	
	事業費(決算額)(千円)		6,002	6,601	-599	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		6,383	9,775	-3,392
	財源内訳	一般財源	2,943	3,126	-183		内訳	事業費	6,002	6,601	-599
		国府支出金	3,059	3,475	-416			人件費	381	3,174	-2,793
		地方債	0	0	0			公債費	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0			一人あたり(円)	57	87	-30
			0					世帯あたり(円)	135	207	-72
		0			参考		職員数(人)	0.05	0.40	-0.35	
		0					再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00	
	今後の方向性	今後も引き続き検診の必要性について啓発し、要指導者への指導を実施する。									
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	当該年度に満40・45・50・55・60・65・70歳の女性市民：約6,200人						
	A	A	B								

事業優先順位		2 細事業：肝炎検査事業							整理番号	10	
目的	肝臓がんの原因の90%が、肝炎ウイルスによるものであるため、肝炎ウイルスの感染者を早期に発見し、必要に応じて保健指導を行い、適切な治療を受けることで肝炎による健康被害を回避することを目的とする。										
目標	肝臓がんの予防のため、感染している可能性の高い受診者には精密検査を受診するよう指導を行い、肝炎ウイルス感染者の早期発見に努める。										
事業実施主体	委託	事業開始年	平成14年度	根拠法令	健康増進法						
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較	
	事業費(決算額)(千円)		2,946	3,087	-141	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		3,327	5,468	-2,141
	財源内訳	一般財源	1,700	821	879		内訳	事業費	2,946	3,087	-141
		国府支出金	1,246	2,266	-1,020			人件費	381	2,381	-2,000
		地方債	0	0	0			公債費	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0			一人あたり(円)	30	48	-18
			0					世帯あたり(円)	70	116	-46
		0			参考		職員数(人)	0.05	0.30	-0.25	
		0					再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00	
	今後の方向性	肝臓がんでの死亡を減らすために、検査未実施者への受診勧奨を継続して行う。									
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	40歳以上の市民(平成14年以降未受信の者)：約900人						
	A	B	A								

## 細事業：骨粗しょう症検診事業

### 1. 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は骨強度が低下し骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展によりその増加が予想されることから、早期に骨量減少者を発見し、骨粗しょう症を予防することを目的に、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性市民を対象に骨粗しょう症検診を実施した。

- (1)実施方法 市内の取り扱い医療機関において個別健診として実施
- (2)実施内容 問診、エックス線検査（DXA法\*またはMD法\*）
- (3)実施期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- (4)実 績

(単位：人)

項 目	受診者数	異常なし	要指導	要精検
骨粗しょう症検診	1,327	789	372	166

#### ※DXA法

…全身または腰椎などの重要な部位について、二種類のX線を当てて骨密度を測定する方法。

#### ※MD法

…人差し指の根元の骨をX線写真撮影して、写真の陰影濃度を分析する事によって骨密度を測定する方法。

## 細事業：肝炎検査事業

### 1. B型C型肝炎ウイルス検査

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関で受診することにより、肝炎による健康障害を回避し症状を軽減し、進行を遅延させることを目的に実施した。当該年度内に満40歳になる市民と、40歳以上で平成14年以降にB型C型肝炎ウイルス検査を未受診で受診を希望する市民を対象に実施した。

- (1)実施方法 市内の取り扱い医療機関において個別健診として実施。特定健康診査と同時実施を基本とするが、実施医療機関において特定健康診査を受診しない場合は、単独実施も可能とした。
- (2)実施内容 血液検査（B型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査）
- (3)実施期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- (4)実 績

(単位：人)

項 目	受診者数	結果内訳
B型肝炎ウイルス検査	783	陽性者6人
C型肝炎ウイルス検査	783	感染している可能性が極めて高い人 0人

### 2. 肝炎対策強化推進事業

平成23年度より肝炎対策強化推進事業として40歳以降に一度も当該検査を受診していない市民（40歳以上60歳までの5歳刻みの年齢）を対象に個別勧奨を行った。(7,012人)